

総合型地域スポーツクラブへの学生参加がもたらす相互効果と可能性について

研究の目的

研究の方法

第1章 わが国における総合型地域スポーツクラブの成り立ち

- 1節 スポーツ振興基本計画からみる総合型地域スポーツクラブ
- 2節 スポーツ立国戦略からみる総合型地域スポーツクラブ
- 3節 栃木県の総合型地域スポーツクラブの現状

第2章 教員養成系大学における教育実践力の形成とその取り組み

- 1節 教員養成系大学の学生に求められる資質・能力
- 2節 課外活動・ボランティアの意義
- 3節 スクールボランティアの取り組みの現状
- 4節 スポーツボランティアの取り組みの現状

第3章 大学・自治体におけるスポーツボランティアの先行事例

- 1節 鹿屋体育大学における「学生スポーツボランティア」
- 2節 群馬大学における「NPO 法人群大クラブ」
- 3節 えひめ広域スポーツセンターにおける「地域スポーツボランティア」

第4章 スポーツボランティアネットワークの作成

- 1節 学生におけるスポーツボランティアのニーズ
- 2節 総合型地域スポーツクラブにおけるスポーツボランティアのニーズ
- 3節 ボランティアネットワークの構築

第5章 総合型地域スポーツクラブ・学生の効果検証

- 1節 先行事例から捉える尺度の決定
- 2節 総合型地域スポーツクラブにおける学生ボランティア導入の効果
- 3節 学生における課外活動体験の効果

第6章 考察

- 1節 スポーツボランティアネットワーク作成に関する考察
- 2節 総合型地域スポーツクラブ・学生の効果検証に関する考察
- 3節 総合型地域スポーツクラブと大学の連携に向けた今後の展望